

部活動に一生懸命取り組んでいる皆さんへ

今こそ元気を出して頑張ろう！

校長 坂根昌宏

島根県高等学校体育連盟は、4月30日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、島根県高等学校総合体育大会を中止すると発表しました。移動や宿泊の際の感染対策が困難であることや、臨時休業が続く中で十分な練習ができていないことによる怪我や事故の発生が危惧されるため、安全・安心な大会運営が困難であることが中止の理由です。

県総体を目標に練習を積み重ねてきた運動部の皆さんは、県総体が中止になったことを知り、大きなショックを受けていることと思います。特に3年生にとっては集大成の場であったため、大変落胆していることと思います。県総体が中止になったことで、3年間の練習の成果を発揮する機会が失われたことは非常に残念です。しかし、皆さんが部活動に一生懸命取り組んできたことは、決して無駄ではありません。部活動を通して、皆さんは確実に成長してきました。日々の練習の積み重ねによって精神力、技術、体力を伸ばすことができ、先輩や後輩と関わる中で礼儀やコミュニケーション力を身に付けることができたのではないかと思います。そして何より、同じ部活動に所属して目標に向かって苦楽を共にしてきた仲間は、一生の宝物です。この機会に部活動の意義や成果について、改めて考えてほしいと思います。

県総体とは違う形になりますが、3年生が参加する大会が開催される可能性も残されています。島根県高体連は、今後、安全に部活動が実施できる状況となった場合、各地域、各学校等の実情を踏まえ、最終学年生徒の活動成果の発表の場や大会の設定について検討するとしています。高野連・高文連などの主催団体も、3年生のために何とか大会を開催しようと努力しています。また、9月入学の導入を求める声が高まっていることから、政府が検討を始めます。こうした状況から考えると、開催時期を遅らせて学校再開後の練習時間を確保して怪我や事故が発生するリスクを減らし、地区大会を予選とすることで移動の時間や宿泊の機会を減らすなどの工夫をすることによって、競技種目ごとに県大会が開催できるかもしれません。運動部も文化部も、3年生が高校生活を締めくくる大会が開催されることを信じて、3年生はもちろん、1・2年生は3年生のためにも、モチベーションを維持してほしいと思います。臨時休業中は各自で自主トレや個人練習をすることしかできませんが、自分で工夫して質の高い練習に取り組んでください。それが部活動をやりきることに繋がると思います。県総体が中止になった今こそ、元気を出して頑張りましょう！

大会の開催は、新型コロナウイルスの早期収束が条件です。引き続き一人一人が新型コロナウイルスの感染防止策を徹底し、一日でも早く通常の高校生活を取り戻しましょう！